



●第8回 MPドリーム助成金

【申込受付期間】8月20日(金)必着(郵送のみ)

【助成対象】三重県内に活動拠点を置くボランティアグループ ※その他詳しくは募集要項をご覧ください。

【助成金額／件数】1グループ20万円以内／40グループ以内

【応募方法】ホームページから申込書類をダウンロードしてください。 <http://www3.ocn.ne.jp/~m-yuukyo/>

【問い合わせ】三重県遊技業福祉連合会事務局／TEL:059-221-1677 MAIL:sanyuukyo@poem.ocn.ne.jp

●「新しい世紀の社会づくり」をテーマとした市民活動助成

【申込受付期間】7月30日(金)必着(郵送のみ)

【対象企画】高齢者が活動する市民活動団体 または、高齢者を対象とする市民活動を行う団体

【助成金額／件数】1件あたり上限100万円

【応募方法】ホームページより申請書類をダウンロードしてください。 <http://www.univers.or.jp/>

【問い合わせ】財団法人 ユニバーゲル財団／TEL:03-3350-9002 MAIL:info@univers.or.jp

●Panasonic NPOサポートファンド 2011年助成事業(環境分野／子ども分野)

【申込受付期間】7月16日(金)～30日(金) 当日消印有効(郵送のみ)

【助成対象】法人格の有無を問わず、日本国内に事務所をもつ非営利団体 ※その他詳しくは募集要項をご覧ください。

【助成金額／件数】1件あたり上限150万円／約10件 ※人件費含む

【応募方法】ホームページから申込書類をダウンロードしてください。 <http://panasonic.co.jp/cca/pnsf/>

【問い合わせ】環境分野:特定非営利活動法人 地球と未来の環境基金 TEL:03-5298-6644 MAIL:eff-spf@eco-future.net

子ども分野:特定非営利活動法人 市民社会創造ファンド TEL:03-3510-1221 MAIL:kodomo@civilfund.org

センターからのお知らせ



◎センター休館のお知らせ 祭り当日は例年通り休館日とさせていただきます。

●祇園まつり … 7月17日(土)・18日(日) ●七夕まつり・鈴の音市 … 8月7日(土)

ルーペを寄贈いただきました！

当センター登録団体の「松阪生活と健康を守る会」の堀田様より、「ルーペ(虫メガネ)」を寄贈いただきました。このルーペは輪転機のカウント数を確認していただく際に活用させていただきます。実際に使用してみると「こんなに見やすくなるんだ！」と、驚くほどの便利さです。ご寄贈ありがとうございました。



松阪発信！市民活動の情報紙

AROMA

次号は2010年8月中旬以降の発行予定です。募集・イベント・事業案内など、共有したい情報をお持ちの方は、「アロマ掲載希望」の件名で「タイトル・趣旨・内容・日時・場所・問合せ先」などを記入の上、松阪市市民活動センターまでE-mailかFAXにて送付してください。
次回の原稿締切は2010年7月31日(土)です。担当／澤

松阪市市民活動センター

TEL 0598・25・3801◀予約専用 0598・26・0108

FAX 0598・25・3803

E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

会議室 大会議室……机10 椅子30(600円) **機材等** 印刷機(紙持込)／コピー機
小会議室1…机4 椅子12(150円)
小会議室2…机6 椅子18(200円) 会議室・機材等はセンターに団体登録されることで利用可能です。
料金は1時間。 小会議室3…机4 椅子12(150円) **利用申込** 申請書類は窓口でご記入いただくか
料金は1時間。 小会議室の組み合わせ可。 外会議室…机8 椅子24(400円) お電話にて予約後、ご提出ください。

▼ 松阪市市民活動センターホームページ
<http://www.katsudou.com>▼ 市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室の空き情報)
<http://genki365.net/gnkm/customer/matsusaka/>

PRINTED WITH SOY INK™ 本紙は再生紙と、環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。

松阪発信！市民活動の情報紙

AROMA
A Resident Of Matsusaka Activity

発行 松阪市市民活動センター

〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F
開館 月曜～土曜日／10:00～22:00(予約専用)
TEL 0598-25-3801
0598-26-0108**FAX 0598-25-3803**
E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp～アロマ～ **No.29**

今号は…劇団 松阪ドラマシティ さんです

松 阪を「ドラマいっぱいの街にしたい」という願いの込められた事業が2003年にスタートした。市制施行70周年記念事業に合わせて進められた「松阪ドラマシティ計画」だ。演劇を通じて、市民主体の地域づくりや、松阪の魅力を発信すること目的とした計画で、公募により集まった、総勢約50人の市民が創作劇に取り組んだ。舞台セットなどの大道具もほぼ全てが市民の手作りで進められ、公演は大成功を収めた。事業終了後、劇団は解散の予定だったが、参加者から「今後も続けたい」という声が上がり、まさしく市民主体での活動継続となつた。そして現在、メンバーを入れ替えつつ、その頃の想いを受け継いだおよそ12人のメンバーが「劇団 松阪ドラマシティ」として活動している。

松阪ドラマシティ
代表の天野さん

「カレー戦争」の練習風景。
面白くてつい見入ってしまいました。

取 材に応えていただいたのは、松阪ドラマシティの代表、天野亞矢(あまのあや)さん。天野さんは役者であると同時に、脚本、演出もこなす。取材の日、花岡市民センターでは、天野さんが手掛けた創作劇「カレー戦争」の通し稽古が行われた。7月10日(土)、11日(日)松阪コミュニケーション文化センターでの公演に向けた最終調整だ。練習会場に元気に一番乗りしたのは双子の小学6年生。「メンバーは小学生から60代まで幅広いんですよ」と天野さんは笑顔を見せる。「カレー戦争」には「うちのカレーが一番うまいに決まってる!」という副題がついている。大人げないお父さん同士の喧嘩に、子どもや家族が巻き込まれていくという、聞くだけでも面白そうな内容だ。実際、練習風景を撮影する際、時間を忘れてつい見入ってしまった。

30 年程前、松阪にも社会人劇団があった。しかし3年で解散。その後、松阪ドラマシティが結成されるまで、松阪に社会人中心の劇団は存在しなかった。こうした経緯もあり、劇団結成に「松阪にもようやく劇団が出来た」と喜ぶ声も多かった。しかし、一時は解散の危機に直面したという。結成当初から05年までの脚本、演出は、元県文化会館舞台企画指導監で演出家の谷口忠孝(たにぐちただたか)さんが手がけていた。しかし05年に谷口さんが急逝、劇団は空中分解した。この時、残ったメンバーは天野さんを含め2人。活動継続を願う周囲の声に応えたのが天野さんだった。「始めは何をどうして良いのか全くわからなかっただけですが、逆に、わからなかっただけで、だから代表が務まっただんだと思います」と笑って答える。逆境を前向きに捉える発想は市民活動の継続に必要な要素だろう。

新 たなスタートを切った松阪ドラマシティは徐々に活動を再開。メンバーも新たに募り、2009年、天野さん初の脚本、演出となる「十五の春」で本格的な復活を遂げた。天野さんは中学、高校と演劇部に所属。脚本に興味はあったが書く機会がなかったという。しかし既製の脚本に子ども達を加えるのは難しいと判断。他の劇団関係者にも協力を仰ぎ、オリジナル脚本に着手した。「本当に周りの人に恵まれています」と語る天野さんだが、ただ単に“恵まれている”ではない。日頃から、世代や地域を越えた交流を積極的に行うことで、いざという時に助言や協力を得ることが出来るのだ。今後の夢は「チケットがすぐに完売になる劇団になること」と語る天野さん。解散という危機を乗り越え松阪に灯った演劇の火は、今後も絶えることなく燃え続けるだろう。

劇団松阪ドラマシティ 第7回公演
「カレー戦争」

松阪コミュニケーション文化センター
7月10日(土) 18:30開場 19:00開演
7月11日(日) 13:30開場 14:00開演

前売り券 一般 1,000円 (高校生以下) 500円	チケットなど、お問い合わせは…
当日券 一般 1,200円 (高校生以下) 700円	080-1565-9058(天野)

報告 賑やかに開催 登録団体交流会



今年の交流会は、現役の三重中京大学ボランティア部部長であるセンターの若手スタッフが主となり、企画を練りました。中でも、出された“お題”を絵で伝えていく「伝え方再発見！ お絵描き伝達ゲーム」は、予想以上の盛り上がりで、会場は大きな笑い声で包まれました。ゲームの後は、歓談、1分間PRタイムと和やかに進行し、一本締めて幕を閉じました。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。また来年の交流会でお会いできることを楽しみにしております。



当センターは、8月7日(土)に開催される「七夕まつり・鈴の音市」に、例年通りブース出店します。そこで、登録団体さんに朗報です！ 当センター内に、団体のPRチラシやパンフレットなどを設置できる「PRサポートスペース」を設けます。鈴の音市は中心市街地で行われる市民主体の楽市楽座です。毎年多くの来場者で賑わう鈴の音市で、団体の活動をPRできるチャンスですよ。この機会をお見逃しなく！ PRチラシなどをお持ちでない団体さんは、この機会に作ってみるのも良いかもしれませんね。

〈お申込み方法〉

FAX、メールでお申込みの場合は、件名を「鈴の音市・PRサポートスペース申込み」として、「登録番号」「団体名」「お名前」「連絡先」を明記の上、7月31日(土)までにお申込みください。お電話でも受付けます。受付が確定した団体さんには追って受付け完了のご連絡を差し上げます。

※PRスペースには限りがありますので、先着10団体までとさせていただきます。

お早めにお申し込みください。

「PRサポートスペース」申込みはコチラ

TEL : 0598-26-0108

FAX : 0598-25-3803

mail : katsudou@ma.mctv.ne.jp

(担当: 澤)

〈設置チラシについての注意事項〉

- センター登録団体のチラシ、パンフレットに限らせていただきます。
- 主催者名、問合せ先が明記されていない物はお断りいたします。
- 展示スペースの関係上、サイズは原則としてA3までとします。

※惜しくも先着10団体にもれた団体さんもご安心ください！

鈴の音市のブースにはPRチラシを設置することはできませんが、当センターの館内には、チラシやパンフレットの設置、ポスターの掲示もできます。チラシ設置をご希望の団体さんは是非お持ちくださいね。



6月16日(水)19時より「市民活動センター登録団体交流会」を開催しました。団体交流会は、当センターにご登録いただいている団体同士の有意義な交流の場、日頃の活動PRの場として毎年開催しています。また、今回の交流会では運営のサポートとして、松阪市福祉課に依頼し、手話通訳の方お2人にも参加していただきました。

手話通訳者・要約筆記者の紹介について

当センターでは、年度末に開催しましたリユースパソコン寄贈式や、今回の登録団体全体交流会において、手話通訳の方に我々の運営サポートをお願いしました。

【手話通訳・要約筆記の依頼方法】(松阪市の場合)

1. 松阪市役所福祉課障がい者福祉係へ所定の書式で紹介を依頼する。

2. 手話通訳者・要約筆記者の調整結果が届く。

(調整できない場合、紹介されないこともあります)

【謝礼について】

1人1時間につき2,000円程度(交通費が別途必要になります)

※謝礼は、源泉徴収対象外です。

【詳しいお問合せは…】

松阪市役所福祉課障がい者福祉係 設置通訳者 中山まで

TEL:0598-53-4082 FAX:0598-26-9113



全国規模の
環境活動
市民活動センター

市民活動センター

キャンドルナイト

2010を実施しました



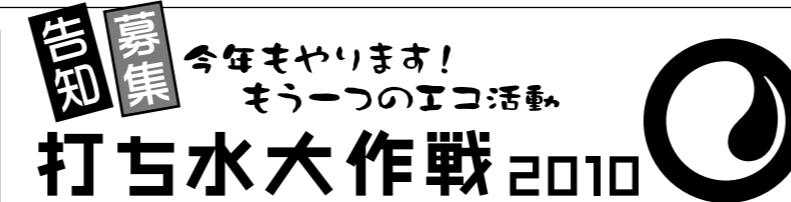
今年の「夏至」をあたる6月21日(月)の夜、当センターのラウンジにて「市民活動センターキャンドルナイト2010」を実施しました。この取り組みは、当センターが「1000000人のキャンドルナイト」および「環境省・CO2削減／ライトダウンキャンペーン」に賛同し、省エネルギーについて考えるきっかけづくりをしたいと、例年、独自で開催しており、今年で4年目を迎えます。

寄贈された200個のキャンドルのうち
100個は、19日にカリヨンプラザ1階
「ひのまちカフェ」にて行われた
キャンドルナイトでも使用しました。



「1000000人のキャンドルナイト」
<http://www.candle-night.org/jp/>

(同ページ下段:「身近なCSRを探して vol.1」参照)



当センターでは、「大暑」にあたる7月23日(金)午後2時より、カリヨンプラザ1階のまちカフェ前にて、今年も「打ち水大作戦」を行います。昨年は松阪市商店街連合会、松阪市自治会連合会、中部電力株式会社松阪営業所の賛同を得、多くの方々に「打ち水人」として各地で同時に打ち水をしていただきました。2010年もひき続き多くの方に賛同いただいてあります。

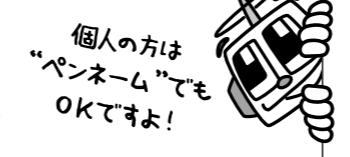
「打ち水人宣言」只今募集中！

そして、今年もまた皆さんからの「打ち水人宣言」を募集中です！ 1年でいちばん暑い「大暑」の最も気温の高い午後2時から、ご家庭やオフィスなど、各地で打ち水をしていただける方は、お電話かメールにて「打ち水人宣言」を当センターまでお送りください。宣言をいただいた方は、センターのスタッフ日記(ブログ)でお名前を紹介させていただきます。松阪の気温を少しでも下げて、暑い夏と一緒に乗り切りましょう！

「打ち水人宣言」はコチラまで

TEL : 0598-26-0108

mail : katsudou@ma.mctv.ne.jp (担当: 澤)



※「打ち水大作戦」とは … <http://www.uchimizu.jp/>

東京のNPOの活動が全国に広まったもので、毎年、大暑の日までに雨水やお風呂の残り湯、エアコンの室外機に溜まった水などを用意しておき、二次利用水として各地で一斉に打ち水を行うエコ活動のこと。この活動により、ヒートアイランド現象の緩和、昼間のエアコン稼働率を下げるCO2を削減するといった効果が期待されている。



キャンドルを通じて社会にエコの灯を

カメヤマ株式会社

今回ご紹介する「カメヤマ株式会社」のCSR活動は、上段の記事でもお伝えしたように、NPOなどと連携した「キャンドルナイトへの協賛」です。カメヤマ(株)キャンドルハウス事業部の匹田英彰さんが実際に当センターに足を運ばれ、「全国的に行われているキャンドルナイトを松阪でも広げてほしい」と、環境意識の啓発にも取り組む当センターの活動に共感していただき、今回の連携になりました。

エコキャンドルの収益の一部は、マレーシア・ボルネオの環境維持を目的とした植林活動に寄附されているそうです。

また、今では全国規模となったこのイベントのおもと「100万人のキャンドルナイト」にも当初から協賛しており、エコキャンドルの製造・販売にも力を入れています。エコキャンドルは、社会・環境への配慮から生まれた植物原料のローソクのこと。限られた石油資源ではなく、繰り返し収穫ができる植物原料は資源が枯渇しないというメリットがあります(こういった

ローソクといえば、三重県人ならまず思いうかぶのが「カメヤマローソク」。それを製造しているのが、1927年に龜山市で創業した「カメヤマ株式会社」です。国内のローソク販売シェアの約40%を占める、三重が全国に誇る企業のひとつです。

エコ商品の開発もCSRのひとつですね)。環境分野での社会貢献をする企業が多いなか、そこから一步踏み込んで、NPOの活動に理解を示す企業の存在はまだまだ珍しい例。財源の厳しいNPOにとっては企業と連携することで活動の幅がぐんと広がります。環境に配慮するだけでなく、NPOと連携することも立派なCSRの一つといえるのです。

企業データ

カメヤマ株式会社
本社：大阪府大阪市（2007年に移転、龜山市には龜山本社工場を設置）
事業内容：神仏用ローソク、キャンドルの製造加工および販売。
縁香・お香の製造および販売。インテリア雑貨の輸入販売。

